

2019年度 調査研究「出張フォーラム」の実施

当調査会の調査研究の成果を各市町村の皆様の業務に活用していただくため、当調査会の研究員が各市町村に伺い、調査研究の内容について説明を行う「出張フォーラム」を実施しています。

本年度は、7月1日（水）から8月31日（月）までを実施期間として、7～10ページで紹介した2019年度実施の調査研究のうち、公務員の副業・兼業に関する調査研究を除いた3テーマを対象に実施しています。

公務員の副業・兼業に関する調査研究については、2020年10月20日（火）開催のシンポジウムにおいて調査研究内容を発表するとともに、有識者の方々からご講演もいただきますので、ぜひご参加ください。

2021年度 調査研究テーマの募集結果

当調査会では毎年度調査研究テーマ選定の参考とするため、各市町村に対して調査研究テーマ要望の調査を行っています。今年度は、2021年度調査研究テーマについて5月から6月にかけて調査を実施しました。お忙しい中、ご協力いただきました各市町村職員のみなさま、ありがとうございました。

お寄せいただいたテーマについては、集計し、6月30日付文書で各市町村の企画担当課にお送りしていますので、ご確認ください。

また、テーマ募集とあわせて、調査研究報告書の活用状況に関するアンケートも実施しております。このアンケート結果につきましては本誌11月号で報告する予定です。

編集後記

今号のニューズレターは、新型コロナウイルス感染症の流行拡大に伴う緊急事態宣言発令の影響により、例年より1か月遅れの8月号として発行いたしました。新型コロナウイルスの流行は、市民生活に加え、自治体が例年実施している事業や、危機管理、福祉、窓口等様々な分野にも影響を及ぼしています。これまで経験したことの無い困難な状況の中、自治体の最前線で対応に当たられた職員の方々のご苦労や頑張りを聞くに及び、自治体が担う役割の重要性とともに、職員一人ひとりの力により市民生活が支えられていることを改めて強く感じたところです。自治体職員の頑張りは、市民に必ず伝わっています。引き続き大変な時期が続きますが、市民生活の維持のため業務に精励していただければと思います。

さて、今号では、前年度に実施いたしました調査研究内容をご紹介します。いかなる状況においても、行政が対応しなければならない課題は厳然と存在しており、自治体には絶えず新たな課題、将来を見据えた取組への対応が求められます。当調査会ホームページにも調査研究結果の概要と共に報告書を掲載しておりますので、ご一読いただき、各自治体の取組のご参考にしていただければ幸いです。

また、当調査会では東京にある島の魅力を紹介するハンドブックを昨年度、5年ぶりにリニューアルして刊行いたしました。東京には人が住んでいる島が11あり、それぞれ異なる魅力を有しています。本ハンドブックでは、成り立ち・歴史・文化・自然・観光等、東京島しょ地域における学びも遊びもご紹介しています。お手に取っていただき、新型コロナウイルスによる影響が落ち着きましたら、現地を訪れその魅力を体験、体感いただきたいと思います。(T.O)



発行 公益財団法人 東京市町村自治調査会
〒183-0052 東京都府中市新町2-77-1 東京自治会館 4階
TEL : 042-382-0068
URL : <https://www.tama-100.or.jp/>
責任者 小暮 実

本誌のバックナンバー等
ご覧いただけます